

こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.45



この作品は、人権のまちづくり
国見部会の作品募集に応募され
た小中学生の生徒の作品のひとつ
です。この他ポスター、書写、人
権標語等については人権フェス
ティバルで発表し、作品集の発
行を予定しています。

人権と差別

国見中学校三年 井手 舞耶

「人権って何なんだろう」
こんな疑問が、ふと頭に浮か
んできました。しかし、私の頭
に、その疑問に対する答えは
すぐには浮かびませんでした。
そのとき、以前、学校の社会の
授業のときに、先生が同じよ
うな質問をしていたことを思
い出しました。そして、その時
私は何という答えを出したの
かを考え、「人権とは、人が生
まれながらに持っている権利」
と考えたことを思い出しまし
た。

しかし、これだけではなんだ
か物足りないような気がして、
辞書で「人権」を調べてみまし
た。辞書には、「人間が人間と
して生まれながらに持っている
権利。実定法上の権利のよう
に自由に剥奪または制限され
ない」とありました。私は前半
の部分しか考え付きませんでした
ですが、後半の部分はとても大

切なことで、その中でも「自由」
という言葉は、人権の中でも最
も大切なものだと思はしてい
ました。

そして、先ほども述べたよう
に、人権は誰もが一人ひとり平
等に持っているものです。しか
し、それを無視してあるもの
が、差別です。人権を無視した
差別は世界のいろいろなところ
であって、その内容もさまざま
です。人種差別、民族差別、障
がい者差別、男女差別、部落差
別…。この他、日本国内では、
在日韓国・朝鮮人への差別など
も問題となっています。私たち
のような、中学生の間でよく起
こるいじめも、ある人を自分よ
りも劣っていると考える差別
意識から生まれるものだと思
います。このような差別はすべ
て、理由のない、あるいは理由
にならないようなことから生
まれてきます。

また、少し広く考えてみる
と、宗教や民族のちがいによっ
て起こる戦争も、差別によつて
起こるといえるものではないかも
しれません。自分とのちがいを
認めず、区別しているという
点では同じことだと思えます。
なぜ理由もない差別があつ
てしまうのかということの大き
な原因は、人々の間に昔ながら
の考えが根強く残っていたり、

自分の周りにいる多くの人た
ちの考えに合わせようという
思いがあつたりするからだと思
います。実際、現在ある部落差
別も、その起源はずっと昔のさ
げずまれていたとされる仕事
などをしてきた人たちが住ん
でいた集落やそこに住んでいる
人たちに対するものですが、身
分のちがいなどない今でもそこ
で暮らしている人たちに偏見
を持ち、差別が続いてきている
のです。

では、どうしたら、こういっ
たさまざまな差別をなくして
いけるのでしょうか。

まず、差別はいろいろなところ
にあるので、一人ひとりの考
えや意識が大切です。昔なが
らのよい考えは受け継ぎ、まち
がった考えはそれに気づいた人
がストップさせるべきです。そ
して、民族や宗教、性別などの
ちがいを気にせず、認め合うこ
とも大切です。人間はみんな
平等なのだということはその
ひたりの意識によって守られて
いないから、人によって差別し
たり、自分よりも劣っているこ
とが見たり、偏見をもつたりする
ことがあるんだと思います。

私も、学校でたくさんさんの人
と生活する中で、みんなと性
格が合うことはありません。

「この人とは性格が合わない
な」と感じることもあります。
しかし、それも一人ひとり個性
があつて、ちがいがあるからこ
そです。これからは、自分と相
手とのちがいを認め合いなが
ら、人に対して偏見を持
つことのない
自分でありたい
と思います。



お知らせ

国見町人権フェスティバル

日時：2月13日(土)

午前10時～

場所：国見みんなかん

問い合わせ

教育委員会 国見分室

☎0978-21115

国東町人権フェスティバル

期日：2月21日(日)

場所：アストくにさき

問い合わせ

教育委員会 生涯学習課

☎0978-2121

人権ビデオ上映会 (隣保館)

テーマ：高齢者

2月22日(月)午後2時～4時

同和問題学習会 (隣保館)

2月23日(火)午後2時～4時

問い合わせ 国東市隣保館

☎0978-1722